

小学校第4学年 道徳科学習指導案

1 主題名「正直に行動するよさ」

(内容項目：A-4 正直、誠実)

2 教材名「新次のしょうぎ」

(出典「小学道徳 生きる力4」 日本文教出版)

3 ねらい

自分の弱さと向き合って正直に行動できる判断力を育み、明るい心で生活しようとする豊かな心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするには、自分の気持ちに偽りの内容にすることが求められる。物事に対して真面目に真心を込め、明るい生活を心がける姿勢をもつことが大切である。しかし人は、自分自身の過ちや失敗が原因で責められた李不利な立場に立たされたりすることを回避しようとして、うそを言ったり、ごまかしをしたりすることがある。その結果、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じ、明るい心で生活することが困難になる。そこで、自分の弱さを乗り越えて正直に行動できる判断力を育み、明るい心で生活しようとする豊かな心情を育てたいと考える。

(2) ねらいに関する児童の実態

- ・うそやごまかしはよくないことだと理解はしているが、全員遊びの際に自分の欲求に負け、ごまかしをしてしまうことがある。
- ・過ちを犯したときには素直に反省しようとしたり、促すと正直にそのことを伝えたりすることができる。
- ・勝負ごとになると勝ちたい気持ちに負けてごまかすことがある。

(3) 教材について

本教材は、将棋に勝つために不正を働いた男の子が自分の過ちを後悔し、涙を流す話である。

男の子は将棋の勝負をおじさんとしていた。そのおじさんとの実力は拮抗していて、いつもいい勝負をしていた。そこで男の子は不正をして、勝負に勝ってしまった。男の子がその行動を公開し、涙を流したその様子は、うそやごまかしをせずに正直に正々堂々と行動することが、明るい心で生活することにつながると気付かせることに適した教材である。

(4) 価値の自覚を深める工夫

導入では、勝負事でうそやごまかしをした結果、どのような気持ちになったかを事前アンケートをもとに話し合わせる。そのことから、正直に行動することは生活にどのような影響があるのかという問いを児童にもたせ、学習の方向付けを図る。展開では、不正をしたことを言い出せなくなった新次の気持ちを考えさせる発問をし、意見交流を通して多様な考えから新次の葛藤について深く考えさせる。その上で、涙をこぼす新次の思いを問う。そこから自分の弱さを乗り越えようとする新次の思いを考えることによってねらいにせまりたい。

5 本時の展開

	<p>学習活動</p> <p>○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される児童の発言</p>	<p>・指導上の留意点</p> <p>■評価の観点</p>
<p>導 入</p>	<p>1 本時の主題を捉える。</p> <p>事前アンケートをもとに、うそやごまかしてしまった経験を交流させる。</p> <p>○うそやごまかしをしたときは、どんな気持ちになりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もやもやする ・勝ってうれしい ・うれしいけどうれしくない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>正直に行動するよさ</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「正直」の児童の捉えを引き出し、正直に行動することが自分自身にどう影響するのかという問いをもたせて、道徳的価値への方向付けを図る。
<p>展 開</p>	<p>2 教材「新次のしょうぎ」を読んで、話し合う。</p> <p>○新次の心に悪魔の影が差したとき、新次はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずるをしてもばれない ・何としても勝ちたい ・誰も見てないし ・駒を動かしちゃおうかな <p>○だまってニコニコしていた新次はどんなきもちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしいんだけど…… ・もやもやする ・ずるがばれないようにしないと ・ずるをしたことが気になる ・何か引っかかる ・隠しているのが辛い ・勝ったけど苦しい <p>◎後悔した新次のかさを持つ手に涙がこぼれたのは、どんな思いがこみあげてきたからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずるをしてしまった ・やってしまった ・はずかしい ・おじさんに申し訳ない ・こんな気持ちになるなら、ずるをしなければよかった ・本当はずるをしないで勝ちたかった ・本当は真剣勝負をしたかった <p>3 教材文を通じた気づきと、自分自身を照らし合わせて考える。</p> <p>○ 正直に行動するよさは、何だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちがすっきりする ・もやもやしなくていい ・自分も相手もいい気持ち ・明るく生活できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物や状況の概略を伝えてから読み聞かせる。 ・勝ちたい気持ちがあることをおさえる。 ・自分がよい結果を得るために不正をしようとするときの思いを考えさせる。 ・不正をしたことを隠し続けることでどんな気持ちになるのかを考えさせる。 ・勝負に勝ったときの気持ちと対比させる。 ・自分自身と向き合って自分の弱さに気付いたときの気持ちを考えさせる。 (ICT思考ツールの活用) ・気持ちの細部まで考えさせる。 ・導入時の問いに立ち返る。 ■正直に行動することのよさについて、自分との関わりで考えている。

終 末	4 教師の話を聞く ○教師の説話 (児童が正直に行動できたときのエピソード)	
--------	--	--